

事業所における自己評価結果(公表)
(放課後等デイサービス)

公表: 2022年3月25日

事業所名 リズムJOY

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			基準の2倍程度の広いスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切である	○			基準以上の職員を配置している。保育士、児童指導員、社会福祉士、精神保健福祉士、作業療法士など専門性のある職員が在籍している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			段差のない、バリアフリー設計である。トイレは手すりを設置し、広いスペースを確保している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			日々の終礼、ケース会議、勉強会などで情報交換、共有し業務改善に取り組んでいる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			この自己評価および利用者満足度調査において、評価、意向を把握し、業務改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			評価結果を保護者に配布するとともに、法人ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	実施していない。今後検討。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			外部研修に多く参加している。法人内部での研修も実施している。事業所内でも勉強会、事例検討会を実施している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			利用開始時、その後は6か月に1回以上(定期は9月と3月)保護者と面談し、アセスメント及び状況把握や課題分析を行い、計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			事業所独自のアセスメントシートを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			職員が分担し、他職員の意見も聞きながら作成している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している		○		ルーティン化するためプログラムの流れは固定しているが、中身・内容は毎月変え、工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している			○	平日のみ営業。長期休暇も平日と同様のプログラムを行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			基本は集団療育だが、個々の状況に応じ、プログラム内容によって個別に対応している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○		役割は事前に決めており、その都度確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			毎日終礼を実施し、その日の振り返り、特記事項等情報交換・共有をしている。業務日誌を作成し、全職員に回覧している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			日々の活動状況は連絡帳(事業所控えあり)、業務日誌、特記の場合は成長シートに記録し、支援の検証・改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			6か月に1回以上(定期は9月と3月)モニタリングを実施し、状況把握や課題分析を行い、計画の見直しを行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			ガイドラインの基本的姿勢、基本活動に沿った支援を行っている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		相談支援事業所の相談支援専門員との情報交換及びモニタリングは、電話での情報交換がほとんどである。主に児童発達支援管理責任者が対応している。会議出席の要請があれば出席する。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			行事予定、下校時間等は保護者から情報を得ている。送迎時間の変更やトラブル等、随時学校と連携を取っている。不登校の児童に関して、学校と情報交換している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			○	医療的ケアが必要な子どもは受け入れていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			保護者からの聞き取りが主であるが、卒園と同時に当放デイを利用する場合は、園等と情報共有する場合がある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			移行する障害福祉サービス事業所から求められた場合、情報を提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			こども発達支援センターの研修会に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	交流は検討しているが、コロナ禍のため実施には至っていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			福山地区放課後等デイサービス連絡協議会に加入し、定例会や研修会に参加している。(今年度はコロナ対策のため定例会は行われておらず、メール等のやりとりである)また、自治体等主催の研修会・講演会に積極的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳や送迎時、モニタリング時の面談等で情報提供、情報交換し共有している。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		送迎時、モニタリング時の面談等で情報提供、情報共有し、必要に応じて助言を行っている。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に、契約書、重要事項説明書をを示し、サービス内容、利用者負担等の説明をさせていただいている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			連絡帳のやりとりや送迎時、モニタリング時の面談等で情報提供、情報交換し共有し、必要に応じて助言と支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	昨年度参観日は設けたが、今年度はコロナ禍のため実施しなかった。今後交流する機会を検討したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情はなかったが、迅速に誠意を持って対応する体制を整備している。対応体制については契約時の説明及び事業所内にマニュアルを備えており、いつでも閲覧できるようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月のお便り(リズジョイ通信)、HP、SNSにおいて活動状況、概要等をお知らせしている。
	35	個人情報に十分注意している	○			個人情報の取り扱いについて、契約時に説明し同意を得ている。SNS等に使用する場合は、個人が特定できないようチェックをしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			児童に対しては、視覚的情報を用いるなど工夫している。保護者に対しては、連絡帳や送迎時、電話、メール、ラインで連絡ができるようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている			○	見学は随時受け入れている。例年は法人の行事に招待していたが、コロナ禍のため、見送っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している			○	各マニュアルを策定しており、事務所内に整備しているが、保護者へ周知は不十分。閲覧も可能なことを周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年に2回防災訓練を行っている。 BCP(事業継続計画)策定に取り組んでいる。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			新人研修、定期研修にて実施。 外部研修にも参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		やむを得ない場合を除き、身体拘束については禁止することを契約書に記載している。 現在そのような事例はない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		契約時にアレルギーの有無を確認している。 現在対応児童はいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハット報告書を作成、情報共有し、検討事例については随時会議を行い、再発防止に努めている。

《保護者向け》 事業所評価の集計結果(公表)
(放課後等デイサービス)

公表: 2022年 3月 25日

事業所名 **リズムJOY** 配布数 26 回収数 23 割合 88.5 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	1		1		基準の2倍程度のスペースを確保しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	20	2		1	・音楽療法の専門の方がいるかよくわかりません。	基準以上の職員を配置しています。保育士、児童指導員、社会福祉士、精神保健福祉士、作業療法士など専門性のある職員が在籍しています。音楽療育の研修を受けております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	19	1		3		段差がなく、バリアフリー化しております。トイレは手すりを設置し、広いスペースを確保しています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	23					利用開始時、その後は6か月に1回以上保護者と面談し、ニーズや課題を踏まえた計画を作成しております。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	22	1			・月ごとに違う歌や物語を覚えており、楽しそうにしている。	ルーティン化するためプログラムの流れは固定していますが、中身・内容は毎月変え、工夫しております。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	6	3	12	・コロナ感染予防の為、他との交流は難しいのでは？	交流は検討していますが、コロナ禍のため実施には至っていません。
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	1				支援内容は体験時、契約時に、利用者負担等については契約時説明しております。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22	1			・帰り(送迎時)には、リズムJOYでの様子を毎回聞くことができる。	連絡帳でのやりとりや送迎時にその日の活動の様子、変化等を伝えさせていただいております。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	2				送迎時、モニタリング時の面談等で情報共有しています。必要に応じて助言も行っています。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	3	6	9	・コロナ禍なので仕方ないですが、他の関連事業所も将来のために見ておきたいです。 ・保護者会は開催されていない。 ・コロナで仕方ないと思います。	昨年度は参観日を設けましたが、今年度はコロナ禍のため実施しませんでした。今後交流する機会を検討いたします。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	1		4	・他の人の苦情を聞いたことがないのでわからない。	苦情はございませんでしたが、迅速に誠意を持って対応する体制を整備しております。対応体制については契約時の説明及び事業所内にマニュアルを備えており、いつでも閲覧できるようにしております。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23					児童に対しては、視覚的情報を用いるなど工夫しています。保護者に対しては、連絡帳や送迎時、電話、メール、ラインで連絡ができるようにしております。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	23					毎月のお便り(リズジョイ通信)、HP、SNSにおいて活動状況、概要等をお知らせしております。この自己評価の結果も書面にて保護者に開示するとともに、HPにて公表しております。
	14 個人情報に十分注意しているか	21	1		1		個人情報の取り扱いについて、契約時に説明し同意を得ています。SNS等に使用する場合は、個人が特定できないようチェックをしております。
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	3		5		各マニュアルを事務所内に整備しております。閲覧も可能です。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	3		9		年に2回防災訓練を行っておりますが、曜日、時間帯が限定されるため、利用児童全員が行うことはできませんが、職員は全員が訓練を行っております。 ・BCP(事業継続計画)策定に取り組み、非常災害に備えております。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	22	1			・子どもは楽しみにしているようです。	今後もお子さまが活動を楽しみながら成長し、保護者の皆様にも満足していただけるような支援をまいります。
	18 事業所の支援に満足しているか	23				・コロナで大変ななか、ありがとうございます。	

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

(注釈)

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。